

と畜場で作業した際には、車両、衣服、長靴に様々な病原体が付着するリスクがあります。病原体を農場に持ち帰らないように汚れをきちんと落とし、消毒してから帰りましょう。

Point 1

専用の長靴
と作業服を
使用すると
GOOD



衣服の上にヤッケなどの作業服と長靴を着用して作業します。作業後に長靴を消毒し、座席に乗り込む前にヤッケを脱衣し、持ち帰って洗濯します。

Point 2

運搬車両の
洗浄・消毒
を徹底

① 出荷の前・後に、水洗場で、車両、タイヤ、特に荷台の糞便を除去する。



② 家畜搬出後、消毒場で、車両、タイヤ、特に荷台を念入りに消毒する。

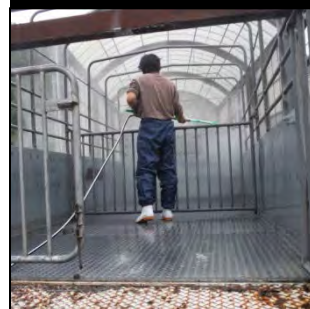
車両の洗浄・消毒



タイヤとハブの洗浄・消毒



荷台の洗浄・消毒



Point 3

運転席
の消毒

運転席の足元マットとペダルの
消毒（消毒スプレーを準備）



Point 4

長靴消毒
と
手指消毒

作業着
の脱衣

長靴の洗浄・消毒



手指の洗浄・消毒



作業着・長靴を
脱いで乗り込む



Point 5

タワー
消毒を
受ける



ゆっくりと車両を進行
させて、タワー消毒を
十分に受けます。

Point 6

農場に
戻る際の
農場入口
消毒も
確実に



動噴、消毒マット、消石灰帯等を設置し、農場に入る前に、再度、消毒します。

ご相談・問い合わせ等がございましたら、下記までご連絡ください。
沖縄県〇〇家畜保健衛生所 【TEL：0980-〇〇-〇〇〇〇】

(参考資料)

【PED対策に係る消毒薬の適正使用】

下表は、消毒薬が属する系統の一般的な適性を表したものであり、実際の使用に当たっては個々の製剤の用法・用量に基づき、正しい濃度に希釈して使用すること。

		逆性石 けん	両性石 けん	ヨウ素 系	アルデ ヒド系	塩素系	複合 ^{※1}	炭酸ナト リウム ^{※2}
畜体	1. 衛生管理 ^{※3}	○	○	○	—	○	—	—
	2. と畜場出荷前 ^{※4}	—	—	○	—	—	—	—
畜舎	1. 畜舎	○	○	○	○	○	○	○
	2. 器具・機材	○	○	○	○	○	○	○
	3. 踏込消毒槽	○	○	—	—	—	○	○
	4. 飲水	○	—	○	—	○	—	—
車両	1. 車体の洗淨	○	○	× (腐食)	○	× (腐食)	× (腐食)	○

	幌 (おおい)	○	○	× (着色)	○	○	○	○
	2. タイヤ	○	○	○	○	○	○	○

	タイヤハウス	○	○	× (腐食)	○	× (腐食)	× (腐食)	○
	3. エンジンルーム	○	○	× (腐食)	○	× (腐食)	× (腐食)	○
	4. コックピット							

	フロアマット	○	○	○	○	○	○	○

	ペダル類	○	○	× (腐食)	○	× (腐食)	× (腐食)	○

その他 (金属を除く)	○	○	× (着色)	○	○	○	× (析出)	

その他 (金属)	○	○	× (腐食)	○	× (腐食)	× (腐食)	× (析出)	

※1 複合次亜塩素酸系のこと。

※2 豚流行性下痢ウイルスは低温下ではpH耐性を持つため、消毒に当たっては4%炭酸ナトリウム溶液を用い、消毒液の濃度を維持すること。

※3 畜体消毒では休薬期間に注意して使用すること。

※4 効能・効果として畜体の消毒が定められており、休薬期間が設定されていない製剤（平成26年9月現在、ヨウ素系消毒薬の一部が該当）を使用すること。